

おおむた自慢

大牟田市石炭産業科学館

～ 大牟田から今、石炭を語る、伝える、考える ～

世界文化遺産の
ガイダンス機能が充実

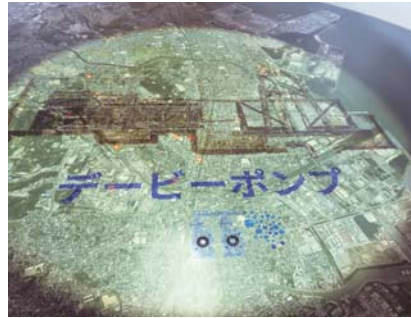
平成 7 年、大牟田市岬町に開館した大牟田市石炭産業科学館は世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」三池炭鉱・三池港ガイダンス機能としての整備が行われ、映像や音声での案内機能も充実されました。

石炭館は、石炭産業等に関する調査研究や資料の収集・展示・公開等を担ってきました。施設内には、地下の採炭作業が再現された迫力満点のダイナミックトンネル（模擬坑道）や炭鉱技術、生活に役立ってきた石炭の歴史を学ぶことができる展示コーナー、科学の不思議を学ぶことができる体験コーナーなどがあります。



今回の整備ではさらに明治日本の産業革命遺産や近代化産業遺産のガイダンス施設としての新たな役割を担っていることから、充実が図られ、團琢磨の胸像が出迎える「23 施設全体を語

る」コーナーでは九州・山口を中心とした 8 エリアにまたがる 23 構成資産についての映像も含め、紹介されています。



「三池の近代化産業遺産のフルヒストリーを語る」コーナーの大型スクリーンでは、「大牟田市近代化産業遺産をめぐる 7 つの物語」が上映されます。

石炭が発見された室町時代から物語がはじまり、三池港ができるまでの様子や戦前戦後の歴史、そしてエネルギー転換までを主人公の中学生が学んでいくというものになっています。



また、床のフィールドマップでは「今も生きている、近代化産業遺産のまち～フィールドミュージアムの環をぐるっとめぐる」として床に大牟田市内の航空写真を映写されています。

宮浦坑跡や宮原坑跡、専用鉄道敷跡、三池港、三川坑等の各遺産やサテライトのテーマ、見どころを紹介しているスクリーンパネルとあわせて位置を確認することもでき、自分の家を探したり、川の流れをたどるといった楽しみ方もできます。

春の企画展や
ファミリーデーも開催

このほか同館では春の企画展「思い出の三川坑」（5 月 16 日まで）を開催し、三川坑に関連した写真や資料では、「三川坑の開坑」「戦時労働」「三池争議」「炭塵爆発事故」「三川坑の構内と坑内」の 5 つの記憶を紹介されています。

さらに、毎月第 3 日曜日は「石炭館ファミリーデー」として家族 2 人以上で入館すると、優待料金大人・高校生 420 円が 320 円、4 歳から中学生 210 円が 160 円になります。ジャー坊と触れ合えるイベントや演奏会、おはなし会などもありますので、ぜひ一度遊びに行ってみませんか。

編 現広報部会で発行する最後の号となりました。市議会だより制作に当たっては、表紙や「おおむた自慢」に、大牟田の未来を担う子どもたちを取り上げるように努めてきました。コロナ禍ではありますが、令和 2 年 7 月豪雨災害の復旧・復興を一步でも前に進め、未来のまちづくりに取り組んでまいります。(M)

編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】三宅智加子 【副委員長】島野知洋

【委員】森竜子 山田修司 平山光子 崎山恵子

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町 2 丁目 3 番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

印刷 株式会社江崎印刷所